

# 2017年10月開講 <第6期>

～ダイバーシティ推進の知識とスキルを修得できる～

## 『ダイバーシティ・アドバイザー養成講座』ご案内

我が国においても、ダイバーシティという考え方に立った人事改革の重要性が強く主張されています。ダイバーシティとは、個人の多様な特性を認め、その尊重の精神に立つものであり、新しい企業経営の方向転換を迫るものといえます。とりわけ、女性活躍推進は、その象徴的な取組として政府も積極的に政策を展開してきており、2016年4月から「女性活躍推進法」が施行され、「日本再興戦略」の重要な柱ともなっています。

日本生産性本部では、企業に対してこれらダイバーシティの考え方を広く普及するとともに、その理念に沿った具体的な人事制度・施策の改革を推進するため、先導役となる人材の育成に取り組むこととしました。2015年に「ダイバーシティ・アドバイザー養成講座」を開設し、企業におけるダイバーシティに関する十分な知識と理解を持って推進できる人材の養成を目指しています。なお昨今の日本企業の重要課題となっている女性の活躍推進の視点からも理解を深め、課題解決策を学ぶ構成になっています。

本講座では、最新の動向を踏まえ、ダイバーシティに関する総合的かつ体系的な理解を深めるとともに、企業経営等に対して効果的な助言・企画・提案を行うために必要な知識・スキル・技法を習得することができます。受講者間のネットワーク構築や情報交換・共有を図ることによって、アドバイザーとして有益なソリューションの深堀も可能となります。

なお、2017年から、知識の習得・理解を中心とした「基本コース」のみでの参加も可能としました。本講座終了後には、いま我が国の大きな課題となっているダイバーシティ推進の先導役として、各方面で活躍して頂くことを期待しています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

### ■開催日 2017年10月13日(金)～11月18日(土) の全5日

- 基本コース :2017年10月13日(金)、14日(土)、27日(金) ※3日間
- アドバンスコース:2017年10月28日(土)、11月18日(土) ※2日間

### ■会場 日本生産性本部・セミナー室 (東京都渋谷区渋谷)

### ■参加対象(定員20名)

実務経験5年以上で、現に人材開発や人事・労務関係の業務に携わっているか、または、これまでに携わったことがあり、次に該当する方

- 企業内において人事・労務の仕事に加え、これからダイバーシティの推進に関わる方
- 各企業の組織の活性化、人材の戦力化のために、ダイバーシティ推進、女性活躍推進を具体的にはじめようとしている方
- 各企業のダイバーシティの推進、女性の活躍推進の支援に関わる、中小企業診断士、社会保険労務士、その他コンサルタント など

公益財団法人 日本生産性本部

## <本講座の特長>

- ▶ ダイバーシティについて、総合的に、体系立てて学ぶことができる。
- ▶ 自分自身の推進プランを作成し、講師からアドバイスを受けることができる。

- ### ■内 容
- I ダイバーシティの枠組みの理解
  - II ダイバーシティの現状と課題に関する基本知識
  - III ダイバーシティ推進のための支援に必要なスキル

### ■講師陣

本講座は、ダイバーシティ、及び、女性活躍推進に関する諸問題に精通した学識者と、人材育成等の実務に精通したコンサルタント等を中心にした、下記の講師陣により実施します。

**河野真理子** 人材育成コンサルタント／(株)キャリアン 代表取締役  
(公財)日本生産性本部 ダイバーシティ推進センター所長

人材育成、組織力向上のコンサルティングを行う。テーマはダイバーシティ・女性活躍推進・マネジメント・キャリア・能力開発等。メーカーにて人材育成子会社の設立に携わり、社長、のちに会長。2013年よりキャリアン代表取締役。内閣府、文部科学省、厚生労働省等の委員を歴任。

**谷口 真美** 早稲田大学 大学院商学研究科 教授

ボストン大学大学院組織行動学科客員研究員等を経て、2008年より現職。2013～2015年マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院客員研究員。ダイバーシティ・マネジメント研究の第一人者。

**パク・スックチャ** アパショナータ, Inc. 代表&コンサルタント

米国と日本で米国系企業に勤務後、日本初のワークライフバランスを推進するコンサルタントとして独立。米国とアジアに精通したグローバルな経験を活かしダイバーシティ推進者として活躍。

**君嶋 護男** (公社)労務管理教育センター 理事長

労働省(当時)入省後、愛知労働局長、(独)労働政策研究・研修機構理事兼労働大学校長、(財)女性労働協会専務理事などを歴任。

**坂本 崇** (株)マネジメントイノベーション 代表取締役 コンサルタント

経営コンサルタント。国内外大企業、中堅中小企業、行政組織の経営者・経営幹部・管理職を対象にCS・ES・財務成果をもたらす経営・事業戦略、組織力強化コンサルティング、研修を多数実施。

**北浦 正行** 武蔵大学 客員教授、(公財)日本生産性本部 参与

**辻本 恵一** (公財)日本生産性本部 雇用システム研究センター指導主査

**村上 和成** (公財)日本生産性本部 雇用システム研究センター研究主幹

**長谷川真理** (公財)日本生産性本部 ダイバーシティ推進センター室長 ほか

### <参加者の声>

- ダイバーシティ推進の目的、方法、プロセス、対策から導入例に至るまで段階的に学習できたことや、ワークにおいて実際の課題についての洗い出しや検討が、自己の考えのみならず、多数の意見を参考にすることができたため、その後の落とし込みがやりやすかった。これらインプットやワークをベースに実務に活かしたいと思う。
- 今まで研究会などでダイバーシティについて学んできたが、なかなか体系立てて学ぶことができていなかったのので、今回知識の体系化のきっかけづくりができた。これからさらに深めていきたいと思った。
- 企業にダイバーシティ推進の必要性を説明する時に使える根拠や、キーワードを学ぶことができ、今後役立てることができる。また、実際に企業に提案する方法(切り口、検討の順序)も修得できたので、これから活かしていける。
- 座学中心、インプット中心だと思っていたが、かなり実践的で参考になった。ダイバーシティ推進の企画立案の仕方を学ぶことができた。学んだことを活かして「当社のダイバーシティ」を必ず実現したい。
- ほとんど知識がない状態での受講であったため、新たに知ることや現状の問題点等に気付くことが多く、大変勉強になった。女性活躍だけに着目しがちであったが、多様性といった部分のそれぞれの問題点・課題を知ることができ、偏った考え方を修正するのに大変有効な機会となった。

## ■プログラム

|                                  | 回                         | 内 容   |
|----------------------------------|---------------------------|---|
| 基本<br>コ<br>ー<br>ス                | <b>第1日</b><br>10:00～18:00 | <開講><br><b>I ダイバーシティの枠組みの理解 ①</b><br>1 ダイバーシティの理解<br>・ダイバーシティの意義<br>・ダイバーシティ・マネジメントの領域およびその関連分野<br>・個人尊重の視点から見たダイバーシティの意義<br>2 ダイバーシティと経営戦略<br><br><b>II ダイバーシティの現状と課題に関する基本知識 ①</b><br>3 ダイバーシティと人材育成（含む、女性の活躍推進）<br>キャリア形成／管理職登用／意識改革／継続就業・WLB ※終了後、交流会 |
|                                  | <b>第2日</b><br>10:00～18:00 | <b>I ダイバーシティの枠組みの理解 ②</b><br>1 ダイバーシティの考え方<br><br><b>II ダイバーシティの現状と課題に関する基本知識 ②</b><br>2 多様な人材の活躍推進策（女性活躍を中心に）<br>3 無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）<br>4 法的課題（ハラスメント・均衡処遇ほか）   |
|                                  | <b>第3日</b><br>10:00～18:00 | <b>II ダイバーシティの現状と課題に関する基本知識 ③</b><br>1 ダイバーシティを支える人事制度の在り方<br>2 女性活躍推進の実態と事例<br>3 現状把握と課題抽出   |
| アド<br>バ<br>ン<br>ス<br>コ<br>ー<br>ス | <b>第4日</b><br>10:00～18:00 | <b>III ダイバーシティ推進のための支援に必要なスキル ①</b><br>1 課題解決のための提案書の作成手順<br>2 課題解決のためのスキル ～ダイバーシティの実践演習～<br>【演習】ケーススタディ  |
|                                  | <b>第5日</b><br>10:00～17:30 | <b>III ダイバーシティ推進のための支援に必要なスキル ②</b><br>【総合演習】課題解決手法の提案（発表・ディスカッション）<br><閉講> ※終了後、交流会  |

※上記プログラム内容、及び構成は変更になる可能性があります。予めご了承ください。

## ■講座修了の取扱い

- 本講座を修了した方には、講座修了証をお渡しします。（基本コースのみの修了も認められます）
- 修了には、提示された課題レポートの提出、及び、出席時間（8割以上）の条件を満たすことが必要です。なお、アドバンスコースでは、最終レポートの提出も必須となります。
- 過去基本コースのみの修了者は、アドバンスコースのみの受講が可能です。また、今回、基本コース修了者は次回以降にアドバンスコースを受けることが可能です。

## ■参加費 ※昼食代は含みませんが、交流会は含まれています。

【基本コース&アドバンスコース(全5日)】 賛助会員 280,000 円、一般 350,000 円(一人/税別)

【基本コース(全3日)】 賛助会員 180,000 円、一般 230,000 円(一人/税別)

【アドバンスコース(全2日)】 賛助会員 100,000 円、一般 120,000 円(一人/税別)

※アドバンスコースのみの参加は、過去開催の基本コース修了者のみが対象となります。

### <賛助会員入会のお勧め>

日本生産性本部の会員になると、セミナー等の参加割引や各種特典があり大変お得です。年会費は、法人会員の「企業」の場合資本金額等に応じて、「労働組合」の場合は一口5万円からとなっています。なお、個人会員は2万円です。詳細は下記担当までお問合せ下さい。

## ■申込方法

- お申し込みは、下記「参加申込書」をFAXでお送り下さい。開催2週間前までに郵送にて請求書ならびに参加証をご送付申し上げます。参加証が届かない際は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。
- 参加申し込み後のキャンセルは原則ご遠慮いただいております。キャンセルの場合は右記日程よりキャンセル料が発生しますのでご注意ください。
- アドバンスコースのみの参加の場合は、アドバンスコース開催日初日が開催日にあたります。

| キャンセル日      | キャンセル料  |
|-------------|---------|
| 開催14～8営業日前  | 参加費の10% |
| 開催日7～4営業日前  | 参加費の30% |
| 開催日3営業日前～前日 | 参加費の50% |
| 開催日当日       | 参加費の全額  |

## 第6期『ダイバーシティ・アドバイザー養成講座』参加申込書

下記の個人情報に同意の上、本講座に申し込みます。

年 月 日

|             |   |        |  |
|-------------|---|--------|--|
| 貴組織名        |   |        |  |
| 所在地         | 〒   |        |  |
| TEL         |   | FAX    |  |
| 業種<br>従業員数  | 1. 製造業 / 2. 非製造業 / 3. コンサルタント等<br>名(うち男: 女: ) | 会員区分   | 1. 賛助会員 / 2. 一般  |
| 申込責任者<br>氏名 | ふりがな  | E-mail |  |
| 所属・役職       |   |        |  |
| 参加者氏名       | ふりがな  | E-mail |  |
| 所属・役職       |   | 参加コース  | 1. 基本・アドバンスコース(全5日)<br>2. 基本コースのみ(全3日)<br>3. アドバンスコースのみ(全2日) |

### ※ 個人情報の取扱いについて

1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ (<http://www.jpc-net.jp/>) をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込まさせていただきますようお願いいたします。2. 個人情報は、『ダイバーシティ・アドバイザー養成講座』の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当本部が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、及び顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。3. 法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。4. 案内状や参加証、チケットの送付などを外部に委託することがありますが、委託先にはご本人、ご連絡担当者へのサービス提供に必要な個人情報だけを開示し、サービス提供以外に使用させることはありません。5. ご本人からの求めにより、開示対象個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止に応じます。この件については、働き方改革推進センター(担当: 竹内 連絡先 03-3409-1122) または総務部個人情報保護担当窓口 (03-3409-1112) までお問合せください。【責任者: 個人情報保護管理者(総務部長)】6. お申込書に個人情報を記入するか否かの判断はご本人次第ですが、必要な個人情報が不足していた場合は、当本部からのサービスの全部、または一部が受けられないことがあることをご了承願います。7. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。

公益財団法人日本生産性本部 ダイバーシティ推進センター 竹内・山崎

〒150-8307 東京都渋谷区渋谷 3-1-1 TEL:03-3409-1122

E-Mail: [dmc@jpc-net.jp](mailto:dmc@jpc-net.jp) URL: <http://www.jpc-net.jp/seminar/diversity.html>

**Fax: 03-3409-1007**